



地域に 生きる

障がい者地域生活自立支援センター(ばんそうS&S)

沿革

● 昭和55年 4月	社会福祉法人 ひわさ福祉会設立	ひわさ学園・ひわさ育成園の経営開始
● 昭和57年12月	定員変更	ひわさ育成園（30名→40名）
● 平成 4年 4月	新規事業開始	知的障害児（者）短期入所事業（8名）
● 平成 9年10月	//	グループホーム第一あまへ荘（4名）
● 平成10年10月	//	グループホーム第二あまへ荘（4名）
● 平成11年11月	施設名称変更	海部郡障害者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）成人部・児童部
● 平成11年12月	施設定員変更	児童部（40名→30名）、成人部（40名→60名）
● 平成12年 7月	新規事業開始	成人部通所更生（4名）
● 平成13年10月	//	市町村障害者生活支援事業（おおぞら）
● 平成13年11月	//	海部郡障害者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S） 通所授産部 花畑（20名）
	//	グループホーム第三あまへ荘（4名）
● 平成14年10月	//	職場適応援助者事業
● 平成14年12月	//	重症心身障害児（者）通園事業B型
● 平成15年 2月	//	強度行動障害特別処遇事業
● 平成16年 4月	施設定員変更	成人部通所更生（4名→8名）
● 平成16年 9月	法人名称変更	社会福祉法人 柏 涛 会
●	施設名称変更	知的障害者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S） 成人部・児童部・通所授産部花畑
● 平成17年 4月	新規事業開始	知的障害者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S） 通所授産部 ブルーツリー桑野（40名）
● 平成18年 4月	新規事業開始	徳島県南部障害者就業・生活支援センターよりそい
● 平成18年10月	新規事業開始	海部郡障害者相談支援センターおおぞら
●	//	小松島市・那賀町・阿南市障害者相談支援センターこなん
● 平成20年 1月	//	徳島県南部障害者地域生活支援機関連携センターともにC&C
● 平成20年 4月	施設定員変更	児童部（30名→20名）
● 平成22年 3月	施設名称変更	障害者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）大地阿南（新体系移行）
● 平成23年 4月	施設名称変更	障害者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）花畑（新体系移行）
● 平成23年11月		障害者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）成人部（新体系移行）
● 平成24年 4月	施設移転	よりそい本部を阿南市那賀川町へ。美波町はよりそい支所となる
● 平成26年 4月	新規事業開始	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）すたーと（20名）
●	//	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）がんばれる作業所（20名）
● 平成28年 4月	//	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）赤松元気村（20名）
● 平成29年 4月	//	徳島県南部訪問介護センターみまもり

基本理念

社会福祉施設の経営主体として、社会福祉法に基づき、利用者はもとより地域社会における福祉の充実に貢献するために適正且つ活力ある経営に努めます。

また、高い公共性と倫理性をもって県民の負託に応え、地域社会における福祉増進の主導的役割を果たすことに努めます。

実施事業一覧

福祉型障害児入所施設	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）児童部 児童入所：20名（経過措置あり）	
障害者支援施設	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）成人部 施設入所支援：60名 生活介護：40名	
	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）花畑 就労移行：6名 就労継続B：14名	
	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）赤松元気村 生活介護：20名	
	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）大地阿南 就労移行：10名 就労継続B：20名 生活介護：10名	
	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）すたーと 就労移行：10名 就労継続B：10名	
	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）がんばれる作業所 就労移行：10名 生活介護：10名	
	あまべ荘 共同生活援助：14名	
	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）児童部 短期入所：4名	
	徳島県南部訪問介護センターみまもり 居宅介護 同行援護 行動援護 ・ 移動支援（地域生活支援事業）	
	障害児通所支援事業 （旧：重心B型）	障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）らいふ 児童発達支援・放課後等デイ・生活介護：5名
	市町村地域生活支援事業	おおぞら（海部地区対象） 相談支援事業各種
こなん（小松島、那賀、阿南地区対象） 相談支援事業各種		
障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）児童部 日中一時支援事業		
障がい者地域生活自立支援センター（ばんそうS&S）がんばれる作業所 日中一時支援事業		
公益事業	徳島県南部障がい者就業・生活支援センターよりそい 障がい者就業・生活支援センター事業	

所 是

健康 礼儀 責任





はく とう かい 社会福祉法人 柏 涛 会

〒779-2302 徳島県海部郡美波町北河内字本村344番地1

Tel. 0884-77-0434 (代) Fax. 0884-77-1888

URL <http://www.bansou.or.jp> E-Mail Hiwasa@bansou.or.jp

～ ばんそう S&S の 由来 ～

ノーマライゼーション思想の普及と共に、従来の施設福祉中心から、在宅福祉、地域福祉へと、福祉そのものが大きく流れを変える中において、運営母体である柏涛会として、施設に対する古いイメージを払拭して、新たな時代に相応しい名称と、私たち施設の役割を従来以上に「養護と療育そして自立支援」と明確にする必要がありました。

障がい者地域生活自立支援センター（ばんそう S&S）の名称はこうした時の流れを背景に生まれたもので、障がいのある方が地域で生活するための様々な困難を、身内や地域との絆を断ち切ることなく、常に彼らの傍らに立ち、自立のための支援をしていこうとの趣旨で名付けました。このようなことから、「ばんそう S&S」の“ばんそう”については「伴（絆）走」・「伴（絆）奏」の意味があります。

人生をマラソンに喩えますように、人生を歩む彼らの傍らで、身内や地域の方々と一緒に、付かず離れずして彼らを支え、勇気づけながら共に素晴らしい人生の曲を奏でて行こうとの意味があります。また、“S&S”は、本人や家族の自立心や主体性を損なう過剰なサービスやサポートを行わない、ソフトサービス・ソフトサポートの意を表しています。



社会福祉法人 柏涛会

- 交通 JR牟岐線 北河内駅下車 徒歩5分
- // 日和佐駅下車 車 5分

～ お客様なんでも相談室 ～

支援サービスには万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡下さい。

相談専用フリーダイヤル

フリーダイヤル ところのふくしに
0120-56-2942

E-Mail consult@bansou.or.jp